

ヒマラヤ 運命の山 (2009)

NANGA PARBAT

メディア 映画

ジャンル ドラマ アドベンチャー

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2011/08/06

公開情報 フェイス・トゥ・フェイス

映倫 G

【キャッチコピー】

地上8,000メートルの真実

【解説】

世界的登山家ラインホルト・メスナーが、ヒマラヤ山脈の8000メートル峰ナンガ・パルバートにある前人未踏の難壁“ルパール壁”の初登攀を果たした際の衝撃の実話を映画化。当時のドイツ国内で大きなスキャンダルへと発展した初登攀をめぐる知られざる真実を、ラインホルト・メスナー本人の全面協力の下に臨場感溢れる迫真の映像で再現していく。主演は「白バラの祈り ゾフィー・ショル、最期の日々」のフロリアン・シュテッター。監督は「ふたりのロッセ」のヨゼフ・フィルスマイアー。

ヒマラヤ山脈にそびえる標高8,125mのナンガ・パルバートは“裸の山”と呼ばれ、多くの登山家の挑戦をはねつけてきた美しく危険な山。中でも世界最大の標高差4,800mを誇るルパール壁は1970年当時、誰も登攀に成功したことのない最難関のルートだった。そんな中、若き登山家として売り出し中のラインホルト・メスナーは、ヘルリヒコフファー博士率いる遠征隊への招待を受け、弟のギュンターと共に参加することに。そして1970年6月27日、ラインホルトとギュンターはついにナンガ・パルバート山頂に立ち、人類初のルパール壁登攀に成功する。しかし一週間後、帰還を果たしたのは兄ラインホルトひとりだった。やがてラインホルトと遠征隊は互いに非難の応酬を繰り広げ、訴訟へと発展していく。一体、彼らの間で何が起こったのか、そして兄弟を待ち受けていた衝撃の運命とは…。

【クレジット】

監督	ヨゼフ・フィルスマイアー	Joseph Vilsmaier	
製作	ヨゼフ・フィルスマイアー	Joseph Vilsmaier	
脚本	ラインハルト・クロス	Reinhard Klooss	
	スフェン・ゼフェリン	Sven Severin	
撮影	ヨゼフ・フィルスマイアー	Joseph Vilsmaier	
音楽	グスターボ・サンタオラヤ	Gustavo Santaolalla	
アドバイザー	ラインホルト・メスナー	Reinhold Messner	
出演	フロリアン・シュテッター	Florian Stetter	ラインホルト・メスナー
	アンドレアス・トビアス	Andreas Tobias	ギュンター・メスナー
	カール・マルコヴィクス	Karl Markovics	カール・マリア・ヘルリヒコフファー博士
	シュテフェン・シュローダー	Steffen Schroeder	フェリックス・クーエン
	ユール・ロンステット	Jule Ronstedt	アリス・フォン・ホーベ（カールの妻）
	レナ・シュトルツェ	Lena Stolze	メスナー兄弟の母
	セバ스티アン・ベッツェル	Sebastian Bezzel	ペーター・シュルツ

フォルカー・ブルッフ	Volker Bruch	ゲルド・バウル
ミハエル・クランツ	Michael Kranz	ハンス・ザーラー
マルクス・クロイヤー	Markus Krojer	ラインホルト・メスナー（子供時代）
ロレンツォ・ヴァルヒャー	Lorenzo Walcher	ギュンター・メスナー（子供時代）
マティアス・ハービッチ	Matthias Habich	司祭